

>>>> 平成20年度研究成果発表会を開催 <<<<

7月17日(木)に当センターで平成20年度研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から144名の参加がありました。

今年度の研究成果発表会は、平成19年度に終了した研究テーマを中心に、口頭発表6テーマ、ポスターセッション（パネル及び展示品の前で担当研究員が説明を行う）12テーマの発表を行いました。



参加者からは、当センターの研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が交わされていました。

なお、発表会のプログラム及び発表の概要については、次のWebサイトに掲載してありますので、ご覧ください。

<http://www.kagoshima-it.go.jp/public/happyo/happyo2008/>



>>>> シラス緑化基盤が全国発明表彰「発明賞」受賞 <<<<

6月17日にホテルオークラ（東京都）で開催された2008年度全国発明表彰（(社)発明協会主催）において、鹿児島市電の軌道敷緑化などに利用されている火山噴出物のシラスを用いた緑化基盤が「発明賞」を受賞しました。受賞者は、発明者の(株)ストーンワークス代表取締役 上中 誠、当センター 袖山研一、吉村幸雄、瀬知啓久、瀧石和人（現 鹿児島県知的所有権センター）の5名です。

このシラス緑化基盤は、シラスと極少量のセメントを乾式で混合して加圧成形し、加圧時にシラスからしみ出る水をセメントの硬化反応に利用し、シラスの複雑な粒形により強固な結合力を得て成形されます。軽量で保水性・透水性・断熱性・耐火性に優れた特長を有し、切断加工・釘打ちも容易で施工性も良く、(株)ストーンワークスと当センターが共同開発しました。鹿児島市では、路面

電車の軌道敷緑化の基盤（全長3.4 km）を全国に先駆けて施工し、夏場に軌道敷の温度をアスファルトと比べて約16℃下げる効果が確認されました。更に、電車走行時の騒音低減効果も実証され、都市景観も著しく向上し、市民や観光客にも好評で、地球温暖化やヒートアイランド現象を緩和する緑化資材として全国から注目されています。



発明者らが伊藤知事に受賞報告(2008.7.24)